

笠置山

(288m)

実施日： 1月23日(木)

天候： 晴れ

参加者： 7名 青木、川添、園田、田中、中原、細田、園田

行程： JR関西本線「笠置」駅 10:58→11:32 一の木戸跡(車道と合流) 11:42→11:51 笠置寺社務所→
12:00 後醍醐天皇行在所跡(笠置山) 12:53→13:37 二の丸跡 13:42→13:45 貝吹き岩 13:56→
14:04 社務所→14:08 稻荷社→14:18 柳生分岐→14:54 「笠置」駅

少し早めにJR長岡京駅へ、電光掲示板に関西線が不通との表示。関西線が動かなければ、行くこと出来ず。駅員に確認すると、知らない様子で電光掲示板を見て、急いで調べるとのこと。結果、普通箇所は代行バスを運行するので、関西本線「笠置」駅には行けるとのこと。参加者に電話やメールで予定通り実施する旨連絡する。その後車内の案内では、柘植〜亀山が工事で運休とのことであった。ともあれ、京都で全員同じ列車で笠置に向かう。木津で乗り換え、加茂で乗り換え笠置駅へ。

笠置駅で身なりを整え古い町並みを通り抜け、笠置寺への車道に入り、すぐ脇道に入り山道を上る。30分余り上り、車道と合流した一の木戸跡にて小休止。お寺は近い。小休止の後お寺に。社務所で一人300円払い、修行場を巡ることにするが、もうお昼なので、まずは腹ごしらえをすることに。住職はもみじ公園を推薦されその方向へ行く。もみじ公園は少し下らなくてはならず、逆に後醍醐天皇行在所跡(笠置山)に上ってお弁当にすることにした。日当たりの良い場所でお弁当にする。

食後、頂いた山内図に従い順番に巡ることにする。見どころが13か所あり。1番は社務所横の「解脱鐘」食後は2番の「笠置石」から順に見て回る。山頂部は巨岩が多く、摩崖仏や胎内くぐりなど、次から次へと足を止める場所が続く。なかなか見どころが多く、300円の入山料は高くない。結局、住職が食事の場所として勧めて下さった「もみじ公園」のみ経由せず。一旦下って、上り返すのがいやなため。なんとも軟弱な山登りグループである。三角点のあるところまで足を伸ばすかどうか考えたが、時間がかなり押すため、往路を駅にくだる。駅の近くで、コーヒー組と、ビール組に分かれ帰路の列車待ちをし、15:27発に乗り、帰路に就く。

歩行距離 4.43Km 累積上り 340m 累積下り 340m



1, 関西本線、一両編成の列車で「笠置」駅着



2, 古い街中を通り、笠置寺への車道に入る



3, すぐに山道に入る



4, 庚申堂にて



5, 笠置寺への上り



6, 一の木戸跡、車道に合流し小休止



7, 笠置寺山門から入山



8, 後醍醐天皇行在所跡でお弁当



9, 後醍醐天皇行在所跡（笠置山）で全員



10, 社務所横の解脱鐘は見たので、笠置石を見に行く



11, 二つの巨岩に挟まっているのが笠置岩



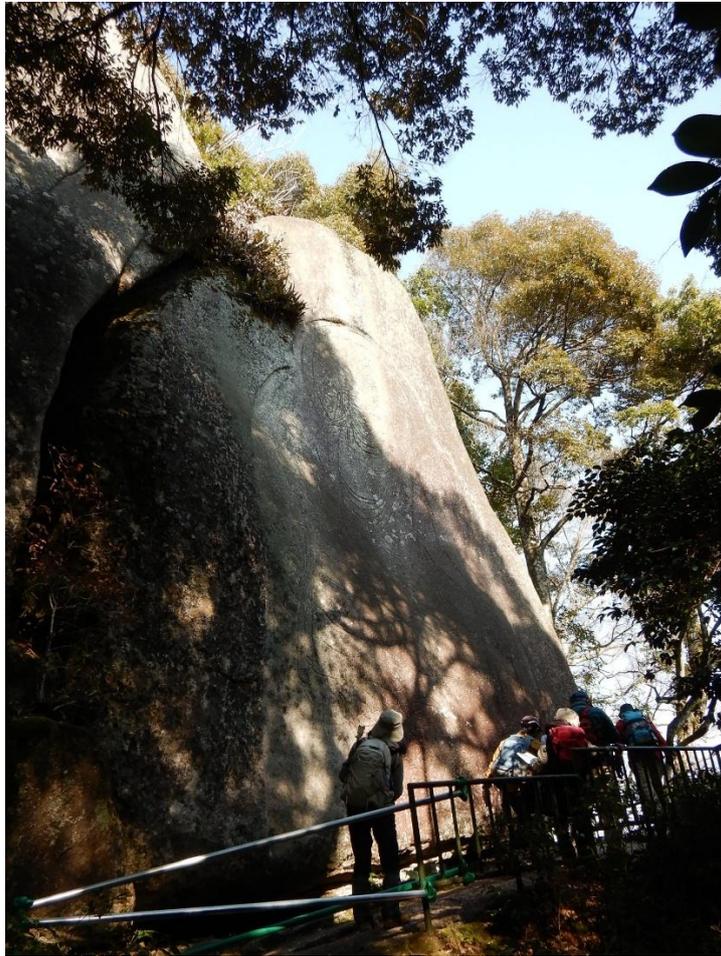
12, 弥勒摩崖仏と向かいの正月堂



13, 正月堂の下を通過して



14, 千手窟にて



15, 伝虚空蔵摩崖仏にて



16, 太鼓石にて



17, ゆるぎ石へ下る



18, ゆるぎ石を動かす



19, 平等石の割れ目を通過



20, 貝吹き岩で全員



21, 往路を笠置駅に下る



22, 下までもう少し